

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22年 3月 26日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22年 5月 21日 作成

事務事業名		排水設備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	久留 伸二							
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	酒巻 将之							
	基本事業	28	水質の浄化			所属班	管理工務班	(内線)	1196							
予算科目	会計	50	款	-	項	-	目	-	事業連番	-	法令根拠	下水道法、合志市下水道条例、合志市下水道条例施行規則	成果優先度評価結果	5	コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭55年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)												

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	各家庭から排出される汚水を下水道施設へ流すために各個人が設置する「排水設備」について、下水道施設の機能を損傷しないような設備及び施工となるよう、関係法令に基づき、「排水設備」に関する届出、内容確認、指導・助言及び施工後の検査を行うなど、下水道施設の機能を水際で保全するための一連の事業である。また、「排水設備」に関する届け出等を個人に代わって代行する排水設備責任技術者の登録審査及び管理、その責任技術者が従事する排水設備指定工事店への指導・助言を行う事業である。「排水設備」の新設等は、下水道管渠整備後から始まるため申請の段階から受益者負担金や分担金等と深く関係し、完了後は使用者から下水道使用料を負担いただくこととなるため確実な収納につなげるための審査事務も行う。排水設備計画確認申請書及び完了届等については、無届や提出遅延を招かないよう排水設備指定工事店への指示、指導が必要であり、指定時の厳守事項等の説明を徹底し、違反行為に係る処分基準を設け、適正な事務を行う。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水設備工事責任技術者の登録及び管理事務、排水設備指定工事店の指定、指導・助言、処分に関する事務</li> <li>合志市下水道条例及び合志市下水道条例施行規則に基づき「排水設備」に関し指定工事店が代行する業務(届出等)の審査及び確認事務、技術的な指示及び指導、設備工事の検査業務(特定施設及び除害施設に関する事務を含む。)</li> <li>必要に応じて本事業に必要な予算の計上事務を行う。</li> </ul>
【主な予算費目】	現在予算計上なし。
【意見や要望】	自治会(組)から、供用開始からかなりの年数が経っているのに、いまだに下水道施設に接続していない家屋があり、直接側溝等へ放流されているため不衛生である。市から接続するよう指導してほしいという要望があった。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
<ul style="list-style-type: none"> <li>排水設備確認申請、完了届件数及び検査数 402件/359件/361件</li> <li>指定工事店登録件数 36件</li> <li>責任技術者登録件数 108件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水設備工事新設等の申請内容の審査及び検査</li> <li>指定工事店及び責任技術者への指導、助言</li> <li>排水設備指定工事店の指定及び更新</li> <li>排水設備責任技術者の登録及び更新</li> </ul>
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 確認申請件数	件
	イ 完了届件数
	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
認められた地域で下水道施設に接続しようとする申請者	⇒ ア 申請世帯数
	戸
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
<ul style="list-style-type: none"> <li>水洗化によって居住環境の質が向上する。</li> <li>適正な設備で安心して下水道に接続できる。</li> </ul>	⇒ ア 水洗化率
	%
	イ 検査(指示、指摘)によって設備が適切に改善された率
	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
<ul style="list-style-type: none"> <li>水洗化率によって、市内で排水に関する居住環境の質向上が図れると考えた。</li> <li>検査(指示、指摘)によって設備が適切に改善された率を見ることで、適正な設備となり、安心して下水道施設に接続できているかどうかを判断できると考えた。</li> </ul>	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	件	440	397	400	402	400	400	400
	イ	件	450	411	410	361	410	410	410
⑤ 対象指標	ア	戸	450	411	410	360	410	410	410
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	94.0	94.0	95.0	95.0	96.0	97.0	97.0
	イ	%				100	100	100	100
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円			1,570	1,498		
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	1,570	1,498	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	7	7	7	7	7	7
延べ業務時間		時間	1,590	1,590	1,590	1,590	1,490	1,390	1,590
(B)人件費計		千円	6,312	6,360	6,328	6,328	5,930	5,532	6,328
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,312	6,360	7,898	7,826	5,930	5,532	6,328	

総トータルコスト  
 全体計画  
 ~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	排水設備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部(SEE)

\*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>・下水道未接続の世帯があり、水洗化率の向上に向けて未接続世帯への啓発に努める。</p>
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止    <input type="checkbox"/>休止    <input type="checkbox"/>目的再設定    <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携    <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善)    <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>・下水道への未接続世帯があり、下水道使用料金の未賦課世帯調査との連携を図り、水洗化率の向上に向けて未接続世帯への働きかけを強化する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>・未接続世帯の解消(=水洗化率100%)を目指し、未接続世帯の事情聴取等により、接続ができない理由等を分析し、問題に応じた対応策を検討する。(排水設備工事費用の問題、家屋の老朽化、移転・建替等の予定、高齢者世帯(将来的不安など)等の理解不足、その他)</p> <p>・費用負担に関する制度の検討</p>																						